

『なくそ=原発2016 柏崎大集会』にみんなで行こう!

◇9月3日(土) 13時～ ◇柏崎アルフォーレ

☆講演 「原発立地県からの発信 脱原発8つの理由」

講師：三上 元 さん(静岡県湖西市長・脱原発をめざす首長会議世話人)

☆首都圏反原発連合ミサオ・レッドウルフさん、制服向上委員会も連帯
長野県や首都圏など全国的な規模での参加が予定されています。

「人間の鎖」から

「集会とデモ」に変更

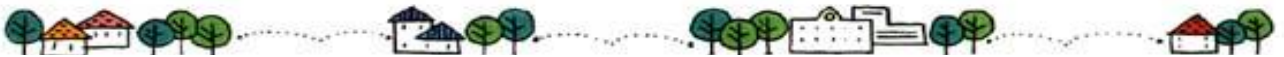
柏崎刈羽原発を人間の鎖で包囲する計画で実行委員会準備を進めてきましたが、現地への参加者輸送などでの困難に対する不安から、実施する方向でまとまりきらず、「人間の鎖」は中止。上記のような「集会とデモ」に替えて成功を目指します。

柏崎刈羽原発の再稼働へ
動きが強まる中での集会

政府が原発再稼働を推進する中、東電は柏崎刈羽原発6・7号機の審査は「大詰め」とし、これまでの「適合審査実施中」を7月14日から「審査済み」と変更。再稼働の動きを強めています。

再稼働が予断を許さない中で開かれる今年の「柏崎大集会」は特別に重要な意味をもっていきます。全国と連帯しながら地元新潟から再稼働ノアの大きなうねりを結集していきましょう。

貸し切りバス等詳しくは次号でお知らせします。



『避難弱者をいびきぼりの未成避難計画』(講演より)

長岡市原子力災害に備えた避難計画学習会開催

6月25日(土) 長岡市立中央図書館にて開催。さよなら柏崎刈羽原発プロジェクト、原発ゼロ長岡市民ネット、長岡市民放射線測定会で構成する実行委員会が主催。桑原三恵さん(いのち・原発を考える女性の会)と渡辺初雄さん(福島第一原発事故からの避難者)を講師にお招きして、長岡市が全戸配布した「みんなの安全と安心を守るために」(保存版)に焦点を当てて学習しました。

桑原さんは、豊かな知識に基づき、長岡市の避難計画について疑問や問題点をわかりやすく解き明かしました。渡辺さんは、身をもって体験した原発事故からの避難の困難さをリアルに語りました。

参加者からは「本日の催しは極めて有意義だった」との感想や継続を望む声が寄せられました。実行委員会では10月中旬に第2回避難計画学習会の開催を予定しています。

(参加者の感想を裏面に掲載。ご覧ください。)



*実物は9×9cm
*色は淡いブルー

「原発から〇〇キロ」
ステッカー好評受付中

人の目に止まる玄関先等にさりげなく貼って知らせましょう。剥がせるシールです。

☆原発を身近に知ってもらおう運動です。
☆原発からの直線距離を知るとは、避難にも役立ちます。

会員のUさんは近所の方5人に広めました。
※ステッカーの普及と会員のお誘いを!
申込み締切は7月末日まで延期します。

◆次回の街頭行動 8月11日(木・祝) 12:00~13:00 アオーレ前 ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第56号 2016年7月20日発行

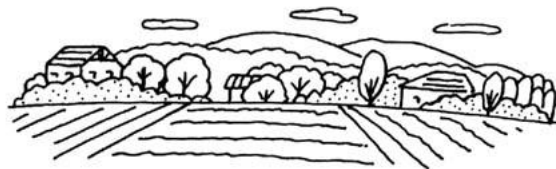
連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 24-2870
矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707

「長岡市原子力災害に備えた避難計画」学習会

《寄せられた感想より》

【学習会についての感想・意見】

- ・理解しやすい話でよかった。 ・新たなことを知ることができました。
- ・深いお話を学ぶことができて大変良かったです。
- ・学習すればするほど不安になる。 ・学ぶことでさらに疑問が膨らんでいます。
- ・具体的な問題点が出てきてよくわかりました。実際の行動として考えていくときのポイントになります。
- ・誰かがやるのではなく、自分で対話して問題を共有していくことに気づきました。



【原子力災害に備えた避難計画についての意見・疑問等】



- ・避難計画は当然必要だが、現実複合災害が発生したら万事休すである。
- ・何としても再稼働は阻止せねばならないことを痛感した。
- ・いくら考えても避難は無理と思います。そこに行くまで問題点を皆と共有する必要性を痛感しました。
- ・市の避難計画が全くいい加減なことがよくわかりました。
- ・机上の計画だとつくづく感じました。
- ・幼児、妊婦をまず守る実行可能な計画を望むが、百歩譲っても核物質はNo.です。
- ・子どもたちを守るには何ができるか具体的に考えていかなければと思います。

【今後の取り組みについて 意見・要望】

- ・他の方へ話をしたいと思いました。 ・全市にくまなく周知が必要。
- ・女性の参加者の多さに安堵します。頑張りましょう。
- ・原発の中止か、再稼働か、もっと学習したい。
- ・次に私たちはどうしたらよいのか、共に考える時間や内容を考えていきましょう。
- ・本当に大事な学習会でした。もっと広く呼びかけて下さい。
- ・市と民が対立しないため、賛成反対を問わず同じテーブルで話し合うことができれば。

